

国別情報（バングラデシュ）

2026年9月

三菱UFJリサーチ＆コンサルティング
海外環境協力センター（OECC）

バングラデシュ

1. 一般情報

省庁体制

※太字・下線はJCMの合同委員会メンバー

行政府

- 商業省（Ministry of Commerce: MINCOM）
- **外務省（Ministry of Foreign Affairs: MOFA）**
- 財務省（Ministry of Finance: MOF）
  - **経済関係部（Economic Relation Division: ERD）**
- 土地省（Ministry of Land: MINLAND）
- 農業省（Ministry of Agriculture: MOA）
- **環境・森林・気候変動省（Ministry of Environment, Forest and Climate Change: MOEFCC）**
  - **環境局（Department of Environment: DOE）**
  - **気候変動・国際会議部環境局（Climate Change and International Convention、Department of Environment ）**
- 漁業・畜産省（Ministry of Fisheries and Livestock: MOFL）
- 電力・エネルギー・鉱物資源省（Ministry of Power, Energy and Mineral Resources: MPEMR）
- 水資源省（Ministry of Water Resources: MOWR）

その他省庁等

- 公共行政省（Ministry of Public Administration: MOPA）
- 住宅・公共事業省（ Ministry of housing and Public Works: MOHPW）
- 道路交通・橋梁省（Ministry of Road Transport and Bridges: MORTB）
- 民間航空・観光省（Ministry of Civil Aviation and Tourism: MOCAT）
- 科学技術省（Ministry of Science and Technology: MOST）
- 教育省（ Ministry of Education: MOE）
- 初等・大衆教育省（Ministry of Primary and Mass Education: MOPME）
- 国防省（Ministry of Defence: MOD）
- 食料省（Ministry of Food）
- 計画省（Ministry of Planning: MOP）
- 鉄道省（Ministry of Railways: MOR）
- 海運省（Ministry of Shipping）
- 情報・放送省（Ministry of Information and Broadcasting: MOIB）
- 文化省（Ministry of Cultural Affairs: MOCA）
- 工業省（Ministry of Industries, MoInd）他

（出所）バングラデシュ政府ウェブページ（Ministry / Division list | Bangladesh National Portal ），JCMウェブサイト（https://www.jcm.go.jp/），2026年9月9日アクセス

バングラデシュ

1. 一般情報

経済情勢

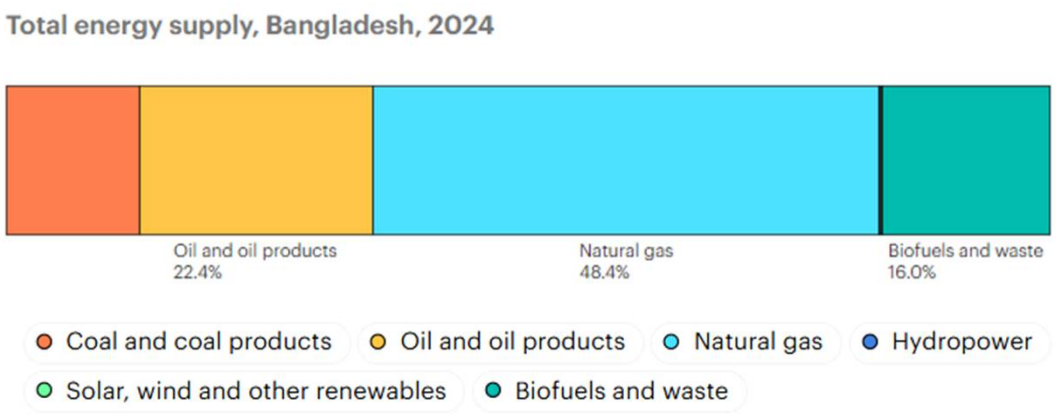
- 主要産業：
  - 衣料品・縫製品産業、農業
- 実質GDP　：4,563億米ドル（2025年：世界銀行）
- １人当たりGDP　：2,597米ドル（ 2025年：世界銀行）
- 経済成長率　：約3.5%（2025年：世界銀行）

（出所）外務省「バングラデシュ人民共和国　基礎データ」（2026年8月27日）
(https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/bangladesh/data.html, 2026年9月9日アクセス)

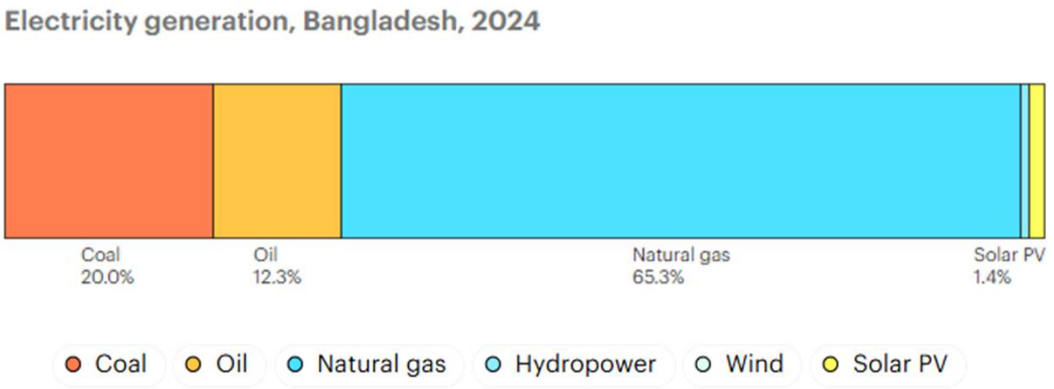
バングラデシュ

1. 一般情報

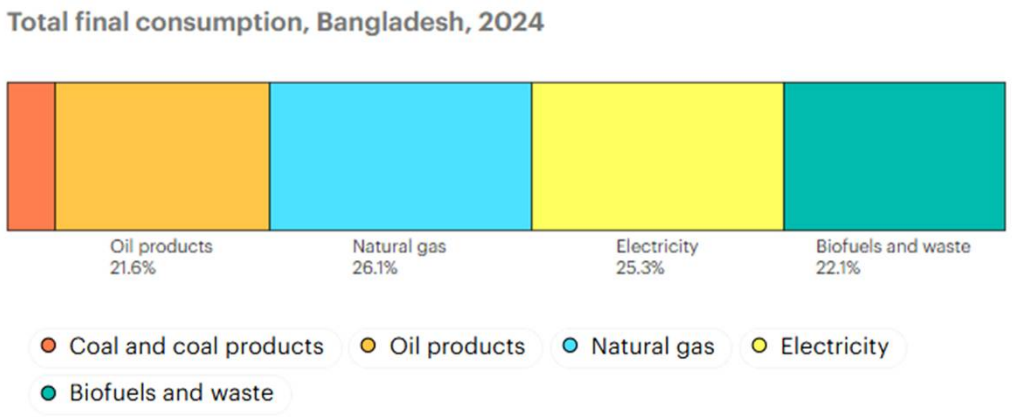
エネルギー供給構成（2024年）



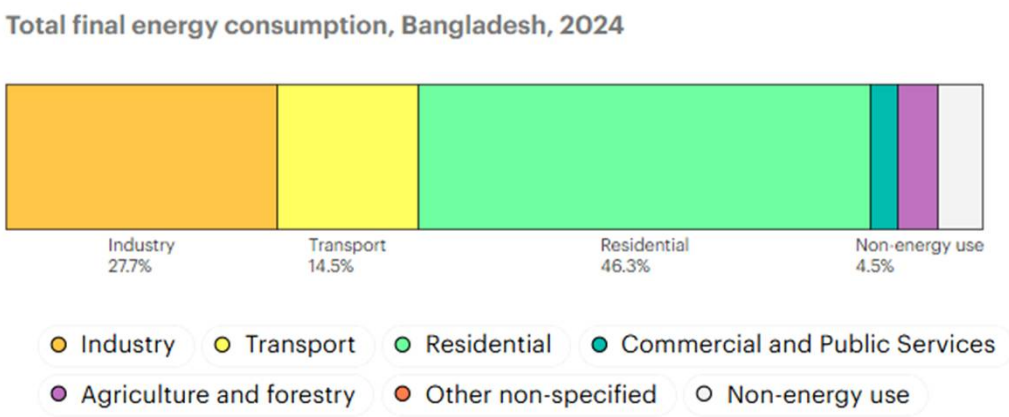
電源構成（2024年）



エネルギー源別最終エネルギー消費（2024年）



部門別最終エネルギー消費（2024年）

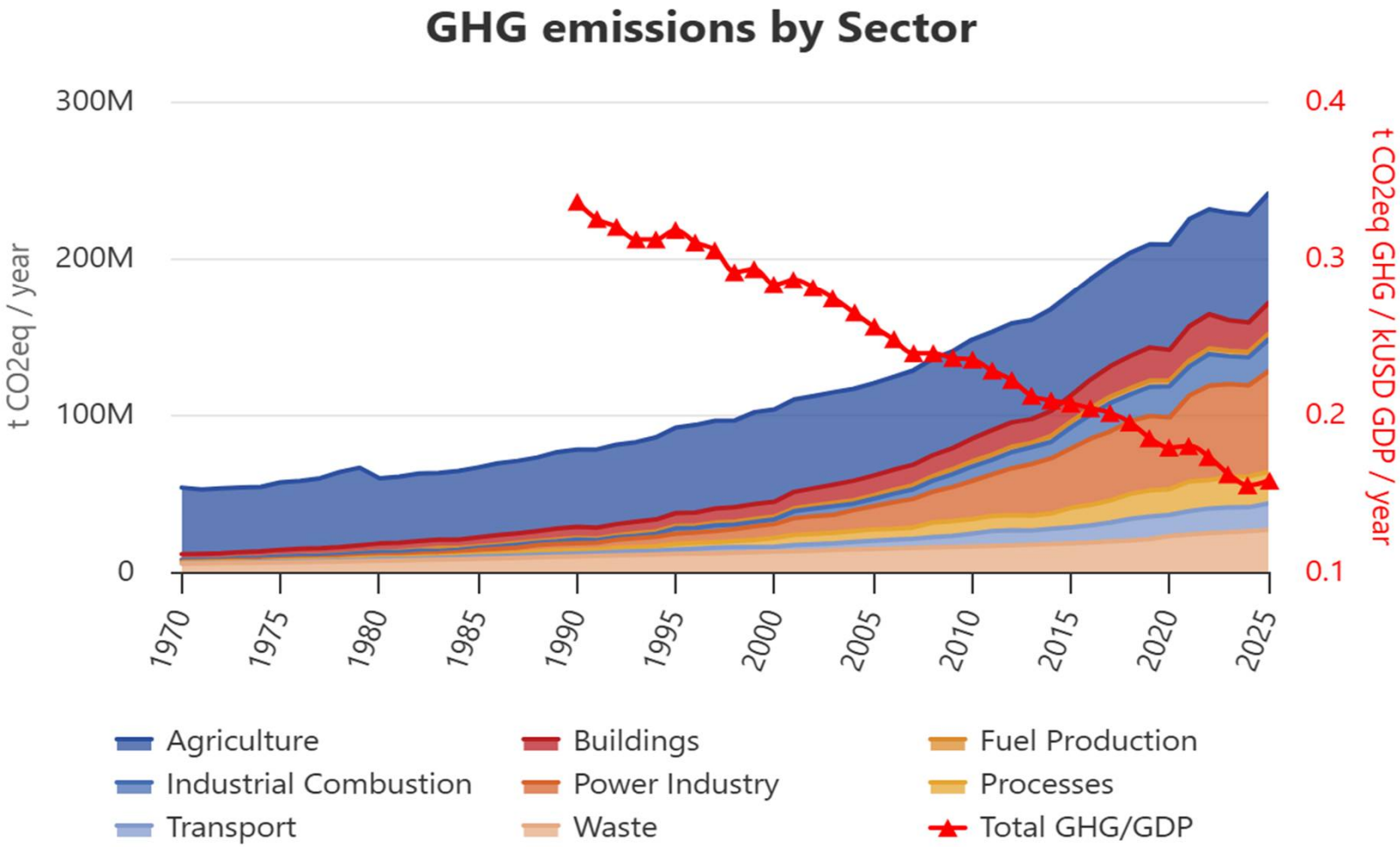


（出所）IEA, World Energy Statistics and Balances（https://www.iea.org/countries/bangladesh/energy-mix, 2026年9月28日アクセス）

バングラデシュ

1. 一般情報

温室効果ガス排出量の推移（1970年～2025年、LULUCF含まず）

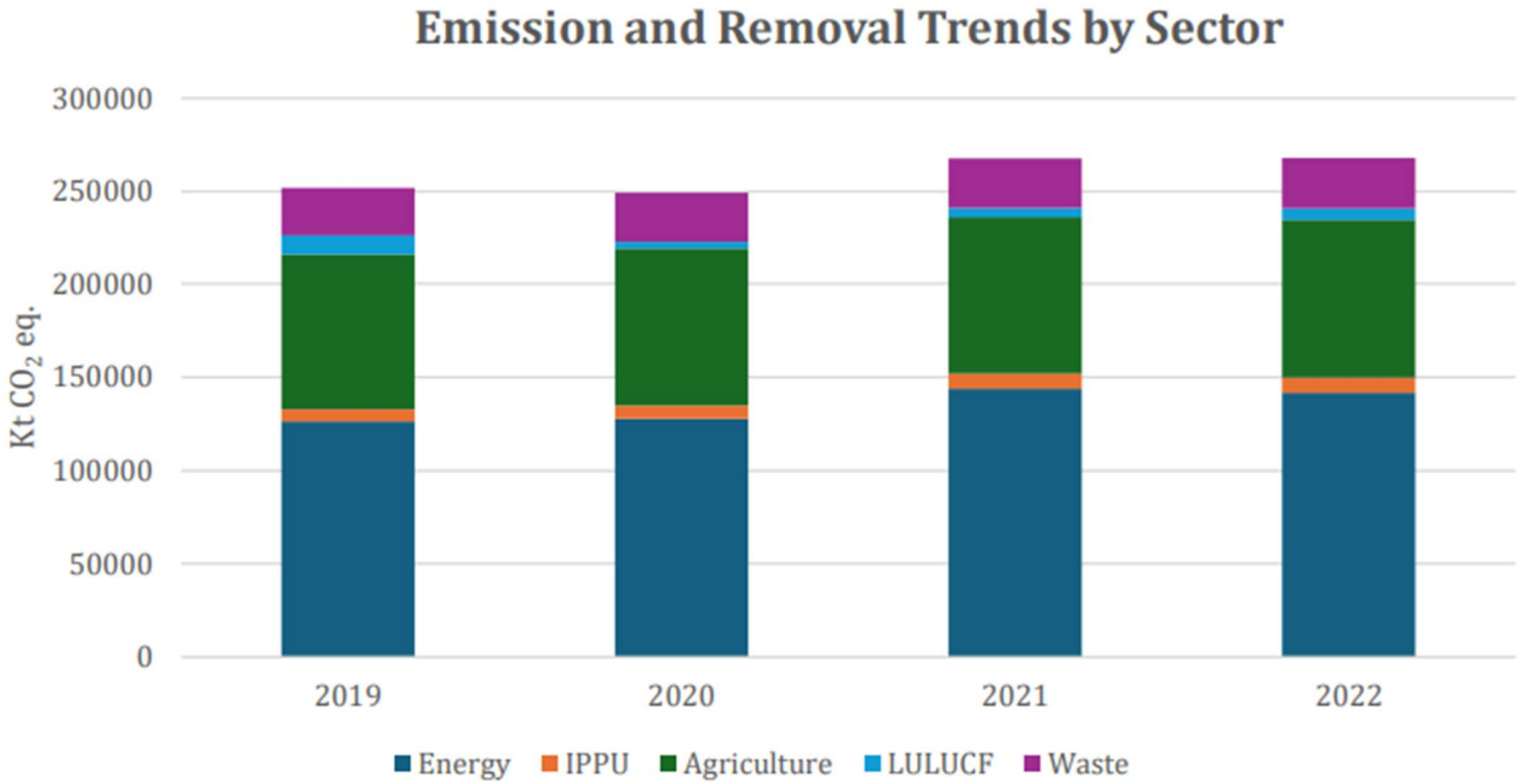


（出所）European Commission, Joint Research Centre, Crippa, M., Guizzardi, D., Pagani, F., Banja, M., Ciarlantini, S. et al., GHG emissions of all world countries – 2026 report, Publications Office of the European Union, 2026, doi:10.2760/7717504, JRC147815.（https://edgar.jrc.ec.europa.eu/country_profile/BGD, 2026年9月28日アクセス）

バングラデシュ

1. 一般情報

温室効果ガス排出量の推移（2019年～2022年）



（出所）“First Biennial Transparency Report (BTR1) of Bangladesh to the UN Framework Convention on Climate Change (UNFCCC) (Interim)” (バングラデシュ環境森林気候変動省環境局, 2025)

バングラデシュ

1. 一般情報

温室効果ガス削減目標（NDC）

目標年	基準	対象	条件付き目標	条件なし目標
2035年	BaU比	全セクター	20.31%削減	6.39%削減

（出所）”Bangladesh's Third Nationally Determined Contribution”（2025年9月29日提出）
※条件付き目標　：国際的な支援を条件とした排出削減目標
　条件なし目標　：国際的な支援が提供されない場合の排出削減目標

排出削減ポテンシャル（NDCの基準の排出量）

418,400,000 tCO_2e（2035年BaU）

（出所）”Bangladesh's Third Nationally Determined Contribution”
（2025年9月29日提出）

セクター別の温室効果ガス削減量、政策・対策

セクター	NDC政策・対策によるGHG削減量（条件付き、2035年, tCO_2e）	政策・対策の概要
エネルギー	69,840,000	再生可能エネルギーの拡大、送配電ロスの削減、MRTやBRTへのモーダルシフト、燃料効率の改善、電化、産業でのエネルギー効率の改善等
工業プロセス及び製品の使用（IPPU）	640,000	アンモニア製造におけるCCUS技術の活用、HFCの段階的削減等
AFOLU	12,710,000	AWDの規模拡大、飼料管理、糞尿管理、再植林等
廃棄物	1,780,000	廃棄物発電プラントや埋立地ガス回収システムの導入等

（出所）”Bangladesh's Third Nationally Determined Contribution”（2025年9月29日提出）

バングラデシュ

1. 一般情報

各種政策・戦略

各種政策・戦略	概要
再生可能エネルギー政策2025 （The Renewable Energy Policy 2025）	● 再生可能エネルギー技術の導入、低炭素投資、及びこの移行に伴う課題に対処するために必要な枠組みに焦点を当てつつ、エネルギーシステムの脱炭素化への道筋を示し、国の持続可能な未来を確保することを目的として作成された。 ● 国内において再生可能エネルギー技術を導入・開発し、同時に国内での製造能力を強化するとしている。
国家太陽エネルギーロードマップ2021 – 2041 （National Solar Energy Roadmap, 2021-2041）	● 国の長期的なビジョンを策定し、太陽エネルギーの取組に対する容量目標を設定するために作成された。 ● 目標を達成するために必要な広範な戦略を概説している。
2030年までのエネルギー効率と省エネのマスタープラン （Energy Efficiency and Conservation Master Plan up to 2030）	● バングラデシュのエネルギー効率と省エネに関する取組の最上位計画である。 ● 本計画の下、政府は2030年までにエネルギー集約度（GDP単位あたりの一次エネルギー消費）を2013年比で20%削減することを目指す。
バングラデシュ国家REDD+戦略 （Bangladesh National REDD+ Strategy）	● 森林減少と森林劣化を抑制し、森林の炭素貯蔵量を増加させるための多部門アプローチに基づき策定された。 ● 本戦略の下、既存の森林1,269,070haを保護・保全し、637,259haに再植林し、173,498haの劣化した森林を再生・強化することを目指す。

（出所）各戦略・計画に基づき作成

バングラデシュ

2. 国内制度

● 炭素市場フレームワークの草案

- パブリックコメントが2026年2月に終了。
- バングラデシュにおけるパリ協定6条2項に基づくプロジェクトサイクルの手続きが規定されている。
- 6条の下での活動を承認するポジティブリストが示されている。また、無条件NDCに含まれる緩和活動、バングラデシュのSDGsまたは環境・社会セーフガードに適合しない緩和活動からは、ITMOsを発行できないとしている。
- 6条指定国家機関（DNA）が緩和活動の参加者から手数料を徴収するとしている。パリ協定6条2項の下で実施する活動の場合、外国からの申請者は、申請料として1000USD、プロジェクトを登録簿に登録するための費用として1000USD、6条DNA事務局による審査及び認可書発行のための費用として1500USD、クレジット発行手数料としてITMOs1単位あたり0.2USD、相当調整手数料としてITMOs1単位あたり2～5USDが課されるとしている。

● FIT制度

- 確認されていない。

（出所）”Bangladesh Carbon Market Framework (draft)” (バングラデシュ環境森林気候変動省環境局, 2026)

バングラデシュ

3. パリ協定6条に基づく手続きや体制の整備

承認（Authorization）

承認体制

- NDC（2025年提出）では、環境森林気候変動省がパリ協定6条DNAを設立しており、6条DNAの理事会が承認を実施するとしている。

登録簿

- NDC（2025年提出）では、ITMOsの発行・追跡のための国家登録簿を設置し、2026年までに運用を開始するとしている。
- 炭素市場フレームワークの草案では、6条DNAがITMOsの記録、追跡、報告を行う登録簿を設立するとしている。

初期報告・BTR・インベントリ等の提出状況

初期報告

- 未提出

隔年透明性報告書（BTR）

- 2025年12月31日提出

インベントリ等

- 2018年12月22日にNC3を提出
- 2023年11月25日にBUR1を提出

6条4項ホスト締約国参加要件様式

- 提出

6条承認レター

- 未提出

（出所） UNFCCCウェブページ”CARP” (https://unfccc.int/process-and-meetings/the-paris-agreement/cooperative-implementation/carp, 2026年9月4日アクセス)、UNFCCCウェブページ“Reports” (https://unfccc.int/reports, 2026年9月8日アクセス)、UNFCCCウェブページ”Designated National Authorities (DNAs)” (https://unfccc.int/process-and-meetings/the-paris-agreement/article-64-mechanism/national-authorities, 2025年9月4日アクセス）、”Bangladesh Carbon Market Framework (draft)” (バングラデシュ環境森林気候変動省環境局, 2026)

バングラデシュ

3. パリ協定6条に基づく手続きや体制の整備

セクター別のNDC達成状況等

- BTR（2025年提出）では、下表の通り、セクター別の実績排出量、BaU排出量、NDC実施時の目標排出量が示されている。全ての分野において一貫したNDCに向けた進捗が確認されており、全体として2030年のNDC目標達成に向けて順調に推移しているとしている。

セクター	実績排出量（単位：tCO_2e）			BaU排出量（単位：tCO_2e）			目標排出量（2030年）	
	2020年	2021年	2022年	2020年	2021年	2022年	条件なし目標	条件付き目標
エネルギー	127,800,000	143,980,000	141,650,000	151,340,000	162,730,000	174,980,000	232,180,000	213,460,000
IPPU※	7,100,000	8,020,000	8,090,000	7,100,000	8,020,000	8,090,000	11,450,000	11,450,000
AFOLU	87,970,000	89,070,000	91,200,000	89,280,000	90,610,000	91,970,000	102,970,000	91,360,000
廃棄物	26,430,000	26,660,000	27,070,000	26,330,000	27,050,000	27,800,000	33,530,000	28,320,000
合計	249,310,000	267,730,000	268,010,000	274,050,000	288,420,000	302,830,000	380,130,000	344,590,000

※BTR（2025年提出）では、IPPUの実績排出量とBaU排出量に同じ値が記載されている。

（出所）“First Biennial Transparency Report (BTR1) of Bangladesh to the UN Framework Convention on Climate Change (UNFCCC) (Interim)”
(バングラデシュ環境森林気候変動省環境局, 2025)

バングラデシュ

3. パリ協定6条に基づく手続きや体制の整備

パリ協定6条の下で活動を承認するプロジェクトタイプ

	プロジェクトタイプ
エネルギー	1. 再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、バイオガス） 2. 太陽光灌漑ポンプ 3. 石炭火力発電所におけるアンモニア混焼 4. 送配電ロスの削減 5. 液体燃料ベースの発電所を、蓄電池を含むよりクリーンな代替電源に転換 6. 道路輸送から大量高速輸送（MRT）、地下鉄へのモーダルシフト 7. BRT 8. 電気自動車及び充電システム 9. 無焼成れんが技術 10. 電気調理器、LPG調理器、Tier 3バイオマス調理器によるクリーン調理 11. 低炭素型の浄水技術 12. 天然ガス送配システムからのガス漏えい削減
IPPU	1. CCUS
廃棄物	1. 固形・液体廃棄物のガス化、嫌気性消化および嫌気性処理を伴う廃棄物発電 2. 有機廃棄物コンポスト化

（出所）”Bangladesh Carbon Market Framework (draft)” (バングラデシュ環境森林気候変動省環境局, 2026)

バングラデシュ

3. パリ協定6条に基づく手続きや体制の整備

パリ協定6条の下で活動を承認するプロジェクトタイプ

	プロジェクトタイプ
AFOLU	1. AWD 2. 窒素系肥料からの亜酸化窒素排出削減 3. 肥料管理の改善 4. 農業廃棄物及び家畜排せつ物からのバイオ炭生産 5. 飼料の改善による反芻動物の腸内発酵由来メタンの排出削減 6. 家畜排せつ物管理に伴うメタンおよび亜酸化窒素の排出削減 7. 小規模バイオガスプラントの普及による家畜排せつ物管理の改善 8. 家畜排せつ物のバーミコンポスティング 9. 沿岸地域、島嶼部および劣化地における植林・再植林 10. 丘陵地および平地のサル林における森林破壊地の復元 11. REDD+ 12. 海洋および沿岸生態系におけるブルーカーボンプロジェクト
技術移転に関連する緩和活動	1. エネルギー貯蔵 2. グリーン水素 3. 燃料電池等の新たなモビリティソリューション 4. 高度な省エネルギー技術 5. SAF 6. 削減困難な産業向けの利用可能な最良の技術 7. 潮汐エネルギー、海洋温度差エネルギー、海水塩分濃度差エネルギー、波力エネルギー、海流エネルギー 8. グリーンアンモニア

（出所）”Bangladesh Carbon Market Framework (draft)” (バングラデシュ環境森林気候変動省環境局, 2026)

バングラデシュ

3. パリ協定6条に基づく手続きや体制の整備

パリ協定6条4項メカニズムの対象となるプロジェクトタイプ

	プロジェクトタイプ
緩和活動	1. 再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、バイオマス） 2. 太陽光発電灌漑ポンプ 3. 住宅及び商業施設における先進的なレンガ技術及び非焼成レンガの利用 4. 間断灌漑（AWD） 5. 窒素肥料からのN_2O排出削減 6. 農地管理 7. 肥料管理の改善 8. 消化管内発酵によるメタン排出 9. 生産性の低い家畜から生産性の高い家畜への転換 10. 家畜用の飼料改良 11. 糞尿からのメタン、N_2O排出管理 12. 小規模バイオガスプラントの促進による糞尿管理改善 13. 共同森林管理、社会林業等を通じた森林と樹木の被覆の維持 14. 森林に依存するコミュニティの代替収入源を確保することによる森林の保全 15. 保護地域の共同管理 16. 沿岸での追加の植林 17. 劣化した森林や森林減少地域の回復の維持 18. 沿道、堤防、私有地での植林 19. クリーンクッキング

（出所）UNFCCCウェブページ ”HOST PARTY PARTICIPATION REQUIREMENTS FOR ARTICLE 6.4 MECHANISM (Bangladesh)”
(https://unfccc.int/sites/default/files/resource/A6.4_Form_AC_001_Bangladesh_Host-Party_fullfilment_form.pdf, 2025年9月10日アクセス)

バングラデシュ

3. パリ協定6条に基づく手続きや体制の整備

パリ協定6条4項メカニズムの対象となるプロジェクトタイプ

	プロジェクトタイプ
除去活動	1. 新規植林、再植林 2. マングローブ再植林 3. 海洋・沿岸生態系におけるブルーカーボン 4. バイオ炭技術による炭素除去 5. 炭素回収貯留
技術移転活動	1. 再生可能エネルギーの貯蔵 2. グリーン水素 3. 燃料電池のような新たなモビリティソリューション 4. エネルギー効率に関する先進技術 5. 持続可能な航空燃料 6. 排出削減が困難な部門における利用可能な最善の技術 7. 潮力、海洋熱、海洋濃度差、波力、海流エネルギー 8. グリーンアンモニア

（出所）UNFCCCウェブページ ”HOST PARTY PARTICIPATION REQUIREMENTS FOR ARTICLE 6.4 MECHANISM (Bangladesh)”
(https://unfccc.int/sites/default/files/resource/A6.4_Form_AC_001_Bangladesh_Host-Party_fullfilment_form.pdf, 2025年9月10日アクセス)

バングラデシュ

4. JCM概要（2026年9月時点）

二国間文書の署名：2013年3月19日

- 2013年3月19日の初回の署名後、2018年6月4日に更新し、有効期間を2030年12月31日まで延長。

ルール・ガイドラインの整備状況

区分	整備事項	状況
共通事項	基本的な一連のルール・ガイドライン類	済
	プロジェクトアイデアノート（PIN）に関する手続きの導入 （実施規則、プロジェクトサイクル手続き）	済
	パリ協定第6条への対応 （実施規則、プロジェクトサイクル手続き、提案方法論開発ガイドライン、プロジェクト設計書・モニタリング報告書開発ガイドライン）	済
	ISO 14064-2:2019、ISO 14064-3:2019、ISO 14065:2020への対応 （第三者機関指定ガイドライン、妥当性確認・検証ガイドライン）	済
	持続可能な開発関連のガイドラインの採択	済
分野別事項	なし	－

バングラデシュ

4. JCM概要（2026年9月時点）

承認方法論：4件

Methodology No.	Title	Latest version	Status	Date of approval
BD_AM001	Energy Saving by Introduction of High Efficiency Centrifugal Chiller	Ver2.0	Approved	15 Mar 18
BD_AM002	Installation of Solar PV System	Ver1.0	Approved	16 Oct 17
BD_AM003	Energy efficiency improvement through the introduction of energy efficient air jet looms in textile industry	Ver1.0	Approved	16 Oct 17
BD_AM004	Installation of energy-saving conductors for transmission lines in the Bangladesh grid	Ver1.0	Approved	04 Jan 23

登録済みプロジェクト：3件

Reference number	Project title	Status	Registration date	Emission Reductions (Average)
BD002	Installation of High Efficiency Centrifugal Chiller for Air Conditioning System in Clothing Tag Factory in Bangladesh	Project registered	10 Jan 18	485
BD003	Installation of High Efficiency Loom at Weaving Factory	Project registered	04 Apr 19	382
BD004	Introduction of PV-diesel Hybrid System at Fastening Manufacturing Plant	Project registered	04 Apr 19	203

（出所）JCMウェブサイトより作成（https://www.jcm.go.jp/, 2026年9月16日アクセス）

バングラデシュ

4. JCM概要（2026年9月時点）

発行済みクレジット：499 tCO_2 （両国合計）

Reference number	Project title	Monitoring period	Country	Date of issuance	Amounts of credits issued
BD002	Installation of High Efficiency Centrifugal Chiller for Air Conditioning System in Clothing Tag Factory in Bangladesh	01 Mar 17 - 31 Jul 19	Bangladesh	11 Oct 24	57
			Japan	31 Mar 22	87
BD004	Introduction of PV-diesel Hybrid System at Fastening Manufacturing Plant	01 Jun 16 - 31 Jul 19	Bangladesh	11 Oct 24	177
			Japan	31 Mar 22	178

第三者機関：11機関

（出所）JCMウェブサイトより作成（https://www.jcm.go.jp/, 2026年9月16日アクセス）



バングラデシュ

4. JCM概要（2026年9月時点）

環境省　設備補助案件： 4件

事業名	採択年度
ファスナー製造工場への太陽光・ディーゼルハイブリッド発電システムの導入	平成27年
衣料品タグ工場における省エネ型ターボ冷凍機を利用した空調の効率化	平成27年
織布工場における高効率織機導入による省エネルギー	平成27年
省エネ型ターボ冷凍機を利用した工場設備冷却（ダッカ市郊外）	平成26年

環境省 ADB JFJCM案件：1件

事業名	採択年度
バングラデシュ南西部（バリサル – ゴパルガンジ間）の高効率送電導入プロジェクト	平成30年

（出所）地球環境センター(GEC) 二国間クレジット制度(JCM) ウェブページ“事例紹介”（https://gec.jp/jcm/jp/projects/）

バングラデシュ

4. JCM概要（2026年9月時点）

経済産業省 MRV適用調査事業案件： 3件

事業名	採択年度
高効率火力発電（平成25年度から）	平成27年
高効率火力発電（平成25年度から）	平成26年
高効率火力発電（平成25年度から）	平成25年

JCM実現可能性調査・JCMインフラ整備調査事業等採択案件： 2件

事業名	採択年度
バングラディシュにおける高効率火力発電の普及に向けた事業スキームの構築及び二国間オフセット・クレジット制度のインフラ・プラットフォームの構築に関わる提言	平成24年
バングラデシュ国における新設CCGT発電プロジェクトの案件組成調査	平成23年

（出所）経済産業省 “二国間クレジット取得等のためのインフラ整備調査事業（JCM実現可能性調査）”（https://jcmfs.meti.go.jp/, 2026年9月16日アクセス）

バングラデシュ

5. 日本（JCM）以外のパリ協定6条に基づくアプローチ

- 6条に関する方針
  - NDC（2025年提出）では、国際炭素市場をNDCの達成と整合させ、追加的なカーボンファイナンスを引き出すために必要な基盤となる政策・戦略を策定中であるとしている。また、自国を高い十全性と高い品質を有する炭素クレジットの販売国として位置付けるとしている
  - NDC（2025年提出）では、条件付きNDCの活動はパリ協定6条を通じた炭素クレジットプロジェクトの開発のために考慮されるとしている。
  - 隔年透明性報告書（2025年提出）では、環境十全性、透明性、国家優先事項との整合性を確保するため、国家炭素市場枠組みの最終化を進めているとしている。この枠組みは、パリ協定6条に基づく緩和活動のための戦略的ビジョン、指針、ガバナンス体制を提供し、活動の承認、ITMOsの発行、相当調整の適用等、6条の運用に必要なプロセスと手続きを確立することが目的であるとしている。また、炭素市場枠組みが最終化され次第、バングラデシュはITMOsの承認、発行、相当調整の適用を進めるとしている。

- 日本以外との国とのパリ協定6条に基づくアプローチ
  - 韓国：
    二国間の協力的アプローチに署名している。
  - NDC（2025年提出）では、その他先進国とも協力的アプローチに署名することを模索していると記載されている。

（出所）”Nationally Determined Contributions (NDCs) 2021” (2021年8月26日提出) 、“First Biennial Transparency Report (BTR1) of Bangladesh to the UN Framework Convention on Climate Change (UNFCCC) (Interim)” (Department of Environment, Ministry of Environment, Forest, and Climate Change, Bangladesh, 2025)”



バングラデシュ

6．固有の制度・工夫

- 分野ごとの取組

【農業】

- 家畜由来のメタン削減。家畜の飼料に特定の添加物を加えることで、消化過程で発生するメタンガスを削減するプロジェクトが進められている。
- 高効率調理器具（クリーン・クッキング・ストーブ）の普及。農村部では、薪や家畜の糞を燃料とする非効率な調理器具が広く使われており、これが大気汚染と温室効果ガス排出の大きな原因となっている。バングラデシュ政府や国際機関は、この伝統的な調理器具を、燃料効率が高く、煙の少ないクリーン・クッキング・ストーブに置き換えるプロジェクトを推進している。人々の健康改善と環境保護を同時に達成する。

（出所）バングラデシュNDC、FAO取組記事（2025年8月29日アクセス）、Understanding Market-based solutions and access to finance options for clean-cooking technologies in Bangladesh, The World Bank 2021　などから作成

バングラデシュ

7. コミュニケーション履歴

↓会議名をクリックすると会議資料のページにリンクします。

Subject	Date	Agenda
1st Joint Committee in Dhaka	29-Jul-13	詳細は会議資料リンク（会議名をクリック）参照
2nd Joint Committee in Tokyo	14-Jan-14	詳細は会議資料リンク（会議名をクリック）参照
3rd Joint Committee in Dhaka	09-Mar-16	詳細は会議資料リンク（会議名をクリック）参照
Electronic Decision by the JC	16-Oct-17	Approval of proposed methodologies with revisions: BD_AM002 "Installation of Solar PV System" BD_AM003 "Energy efficiency improvement through the introduction of energy efficient air jet looms in textile industry"
4th Joint Committee in Tokyo	10-Jan-18	詳細は会議資料リンク（会議名をクリック）参照
Electronic Decision by the JC	15-Mar-18	Approval of a proposed revised methodology: BD_AM001 (ver02.0) "Energy Saving by Introduction of High Efficiency Centrifugal Chiller"
Decision by the JC	04-Jun-18	Adopted documents: Rules of Implementation for the Joint Crediting Mechanism (JCM) (version 03.0) Rules of Procedures for the Joint Committee (version 03.0)
Electronic Decision by the JC	04-Apr-19	Registration of proposed JCM projects - BD003 “Installation of High Efficiency Loom at Weaving Factory” - BD004 “Introduction of PV-diesel Hybrid System at Fastening Manufacturing Plant” Designation of a TPE for an additional sectoral scopes of 12 for validation and verification - EPIC Sustainability Services Private Limited (EPIC)
5th Joint Committee	28-Mar-22	詳細は会議資料リンク（会議名をクリック）参照
Electronic Decision by the JC	04-Jan-23	Approval of a proposed methodology BD_AM004 "Installation of energy-saving conductors for transmission lines in the Bangladesh grid"

（出所）JCMウェブサイトより作成（https://www.jcm.go.jp/, 2026年9月15日アクセス）

バングラデシュ

7. コミュニケーション履歴

↓会議名をクリックすると会議資料のページにリンクします。

Subject	Date	Agenda
Electronic Decision by the JC	03-May-23	Designation of a third-party entity - LGAI Technological Center S.A. (Applus+ Certification)
Electronic Decision by the JC	20-May-24	Designation of third-party entities - Enviance Services Private Limited - Ampere For Renewable Energy
Electronic Decision by the JC	14-Sep-25	Decision on documents - Rules and Guidelines (New version to be uploaded) Decision on no objection to the planned project - BD_PIN001 “Sustainable Rice Cultivation Project through Efficient Water Management”
Electronic Decision by the JC	09-Mar-26	Decision on no objection to the planned project - BD_PIN002 “Implementation of Leak Detection and Repair (LDAR) program at natural gas distribution systems”
Electronic Decision by the JC	11-Apr-26	Rules and Guidelines adopted at the meeting Joint Crediting Mechanism Rules and Guidelines between People’s Republic of Bangladesh and Japan Designation of third-party entities - Ampere for Renewable Energy - Korean Standards Association - Galaxy Certification Services - EcoLance Private Limited

（出所）JCMウェブサイトより作成（https://www.jcm.go.jp/, 2026年９月15日アクセス）